令和7年度 シラバス

Tan Bine The Text Text Text Text Text Text Text Tex
---

学年・クラス	1 学年 ( 必修 ・ 選択 )	担 当 者	江 藤 淳 哉
使用教科書	なし		
使用副教材	なし		

## 目標

- 1. プロジェクト活動やレポート作成活動を通じ、海外の文化への理解や国際的な視野を広げる。
- 2. 前期は、海外で出会う人とうまくコミュニケーションをとることができるように、基本的な日常英会話ができるようになること、自分自身のことや自分の住む地域について英語で発信できるようになることを目標とする。
- 3. 後期は、海外交流事業で得た経験をもとに、諸外国の文化や習慣、日本のものとの違いについて学び、発信することを目標とする。

## 授業の内容・進め方

授業の内容:(1) 日常会話 (2) プレゼンテーション (3) 海外交流事業のまとめ (4) 文化学習

進 め 方:前期は主に海外交流事業に向けた学習活動を行い、後期はその経験を活かした活動等を行います。

考 査:考査は実施しません。授業での成果物を評価します。

## 評価規準(観点別達成目標・評価項目)

評価の観点	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	【知識】(1) 諸外国の文化や国際問題について理解している。 (2) 場面に応じたコミュニケーションの方法を理解している。 【技能】(1)情報収集の方法、氏収集した情報をまとめる方法を活用している。 (2) コミュニケーションの場面において、表現の方法を工夫している。	コミュニケーションを行う目的 や場面、状況、話題などに応じ て、情報や考えなどの概要、要 点を的確に理解し、それらを活 用して適切に表現したり伝え合 ったりしている。	世界の文化や国際問題について理解を深め、主体的、自立的に課題やグループ学習に取り組んでいる。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に 取り組む態度
	パフォーマンステスト	©	0	0
評価項目	レポート	0	0	©
	ワークシート	0	0	0

・観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A:十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する

・評価・評定 観点別評価から総合的に成績(評価・評定)を決定する。

## 指導計画及び中単元別評価基準

F期         単元         学習内容         知識・技能         思考・判断・表現         主体的に学習に取り 海外交流事業や訪問」 ち、自分なりの目的: に取り組んでいる。 1カ合衆国について 2000 ではの違いで学校 ではる違いについてでいる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についてでいる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆国についる。 1カ合衆発表方法を工夫している。 2000 では、活用している。 2000 では、活用している。 2000 では、1カーンを効果的に伝えられている。 2000 では、1カーンを効果がしたことを意識をよったとを意味を表方法を工夫している。 2000 では、1カーンを効果的に伝えられている。 2000 では、1カーンを効果的に伝えられている。 2000 では、1カーンを効果的に伝えられている。 2000 では、1カーンを効果的に伝えられる方法を工夫している。 2000 では、1カーンを効果を上にいる。 2000 では、1カーンを効果を関連している。 2000 では、1カーンを多別来的に伝えられている。 2000 では、1カーンを多別来的に伝えられている。 2000 では、1カーンを多別来のに伝えられている。 2000 では、1カーンを多別来のに伝える。 2000 では、1カーンを多別来のに伝える。 2000 では、1カーンを多別来のに伝える。 2000 では、1カーンでは、1カーンでは、1カーンでは、2000 では、2000 では、200	単及ひ中!	中単元別評価	<u> </u>	1		- 111
別					記準 	
期         海外交流事業 アメリカ合衆国の概要 ・ 海外交流事業 について 関き手のことを意 関き手にわかりやする。		平儿			思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
**技法	海外交流アメリカ	を流事業	方 ・海外交流事	意義や流れ、訪問先であるアメリカ合衆国について	習慣の違いや学校 生活の違いについ て調べ、表現して	海外交流事業や訪問先に興味を持ち、自分なりの目的を考えて活動 に取り組んでいる。
大一ル、ビデオレタ   成		ジンテーション		ョンの方法や英 語表現について 理解し、活用し	識しながら、プレゼンテーションの 内容や発表方法を	聞き手にわかりやすく伝えようと 考えながら、グループのメンバー と協力して活動に取り組んでい る。
・パフォーマンステスト	メール、		成 ・Eメールの	の英語表現や定型表現を理解し、活用してい	かったり、自分の ことを効果的に伝 えられる方法を工	聞き手や読み手に自分のことを伝えようとしている。
数	プレゼン	ヹンテーション	・パフォーマ	ョンの方法や英 語表現について 理解し、活用し ている。	識しながら、プレゼンテーションの 内容や発表方法を	
探究活動① ・自己テーマ 与えられたテーマ に関する知識や情 かりやすくまと 自分の意見を深め伝: かて理解を深めて いる。 はう表現を工夫し ている。	め	₹流事業のまと	・レポート	法やデータの整理 について理解して	して経験したこと や学んだことを整 理してまとめてい	られるよう、自ら考え工夫してい
型学習 に関する知識や情報収集の方法について理解を深めている。 自分の意見を深め伝えいる。 はう表現を工夫している。				43311	-	
		5期(1)	· ·	に関する知識や情報収集の方法について理解を深めて	かりやすくまと め、相手に伝わる よう表現を工夫し	自分の意見を深め伝えようとして
探究活動②  ・目己ケーマ   与えられたケーマ   収集した情報をわ   目分なりにケーマに   型学習   に関する知識や情   かりやすくまと   自分の意見を深め伝:	探究活動	5動②		に関する知識や情	かりやすくまと	自分なりにテーマについて考え、 自分の意見を深め伝えようとして いる.
2				いて理解を深めて	よう表現を工夫し	
まとめ				まと	ヒめ	